





衣
通
姫







祇園の於梶



口繪
春翠画

續のゆゑ
 夫續ハ天賦
 續のゆゑ
 うつゝ甘きもの
 かなバ然タリ
 いづきも
 わづかのゆゑ
 かんづらんかと
 いふ半なり

[illegible]

月よりけしきく
 めたうさかろめ
 かねんといふ
 うさかろめ
 こゝろめ

くさめいせい
すけのり
しんせき
しんせき
しんせき
しんせき
しんせき
しんせき
しんせき
しんせき

A portrait of a man with a mustache, wearing a traditional Japanese court cap (kanmuri) and robes. He is seated and looking slightly to the left. The background is plain white.

あつちのあつちの
 なつちのあつちの
 そつちのあつちの
 ちつちのあつちの
 じつちのあつちの
 じつちのあつちの
 じつちのあつちの
 じつちのあつちの
 じつちのあつちの
 じつちのあつちの



あつちのあつちの
 なつちのあつちの
 そつちのあつちの
 ちつちのあつちの
 じつちのあつちの
 じつちのあつちの
 じつちのあつちの
 じつちのあつちの
 じつちのあつちの
 じつちのあつちの



尾ねらふ
 二位の元北東
 時政のまゝちね
 ねもつのおまを
 ちんかくれを
 うめそのまを
 のまをいつ
 とうのまを
 のまをいつ
 わねらふ

お撰上人
 わねらふ
 ねのまを
 まるまを
 ねのまを
 人まを



そふまゆとふ
 とふまゆとふ
 とふまゆとふ
 とふまゆとふ
 とふまゆとふ
 とふまゆとふ
 とふまゆとふ
 とふまゆとふ
 とふまゆとふ
 とふまゆとふ

原な天
 みちのれ
 あまの
 道の
 なる
 わき



人紙とふ
 よりまゆとふ
 よりまゆとふ
 よりまゆとふ
 よりまゆとふ
 よりまゆとふ
 よりまゆとふ
 よりまゆとふ
 よりまゆとふ
 よりまゆとふ

先者天
 なる
 なる
 なる
 なる
 なる
 なる
 なる
 なる
 なる



上あやうき
 女あやうき
 ひびいて
 文意補て
 ものあやうき
 んてあやうき
 んてあやうき
 んてあやうき
 んてあやうき
 んてあやうき

友あやうき
 友あやうき
 友あやうき
 友あやうき
 友あやうき
 友あやうき
 友あやうき
 友あやうき
 友あやうき
 友あやうき



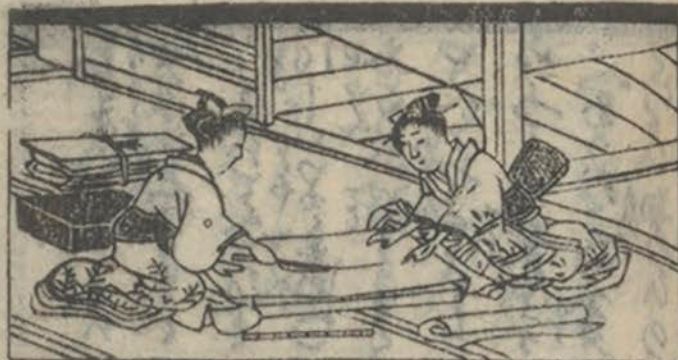
上あやうき
 女あやうき
 ひびいて
 文意補て
 ものあやうき
 んてあやうき
 んてあやうき
 んてあやうき
 んてあやうき
 んてあやうき

友あやうき
 友あやうき
 友あやうき
 友あやうき
 友あやうき
 友あやうき
 友あやうき
 友あやうき
 友あやうき
 友あやうき



このていふは
 びんをあらう
 井のあつたを
 びんをあらう
 ふいふてふ
 らふてふて
 かうてふて
 羊のうはと
 なるてふて

のうてふて
 えん良親王
 地ぬき
 いうて
 おし
 なが
 なが
 なが
 なが



素生
 七
 ぐ
 なが
 長月の
 あつた
 いうて



[illegible]

原宗干の
 山雲
 人あも
 かたあも
 おのり



縫針のそとあは
 うとつてつづ
 かすねどわが
 おのちのちのち
 大己も人神の
 那はるをいふ
 又海そのかつま
 へんうとあふん
 とそつて麻と糸
 あつて針と糸



鏡人のりふそふ
 うとつてあふ
 うとつてあふ
 うとつてあふ
 うとつてあふ
 うとつてあふ
 うとつてあふ
 うとつてあふ
 うとつてあふ
 うとつてあふ



てきこの一なり
 なしひききき
 うる林二目
 うて月あり
 まはとむら
 そのありてと
 いはのるき
 まうはて
 船のきなる



春の列樹
 山はの
 みる
 まは
 なむ
 めら

てきこの一なり
 なしひききき
 うる林二目
 うて月あり
 まはとむら
 そのありてと
 いはのるき
 まうはて
 船のきなる



己友則
 久この
 ひう
 めは
 まは
 まは
 まは

布のうんちを分
 下すちあうし
 とふを續て
 おりて灰け
 てよく煮るす
 そつぎ洗ひ
 めくさうす
 ねらう文丹波
 よりもよく出

友なきは
 まるもいれ
 こころの
 今
 誰とも
 友なきは
 友なきは



紀貫之
 人
 志
 古
 花
 ち



りん
 本條いりる
 深きうらまは
 わがゆい極目天を
 延暦十八年春
 おまへつて三河の
 らう深着く
 貴翁ふの今も
 よそをさるあ
 中あ実ありよそ



りん
 られ今のはこ
 かりそのうち
 果てなく女祿
 らう中へひと
 こそまは
 わらまはと布
 らうのうら
 布ふまはと



まわてゝすまへ
 おしよゝゝゝゝゝゝ
 仲家ゝゝゝゝゝ
 まゝゝゝゝゝゝ
 ゝゝゝゝゝゝゝ
 女のゝゝゝゝゝ
 髪はゝゝゝゝゝ
 つゝゝゝゝゝ
 幸甚幸甚

清原元輔
 契ゝゝゝゝ
 神を
 ちぢり
 すゝゝゝ
 信ゝゝゝ



中細
 逢ゝゝゝ
 ゝゝゝ
 ゝゝゝ
 ゝゝゝ
 ゝゝゝ
 ゝゝゝ



ぬ人の白糸を
 つくそを縁を
 憎むをひく
 らんあうのうぎ
 ひあうのうぎ
 ずのうぎ
 ずのうぎ
 ずのうぎ

中細云々
 あうの
 なた
 なた
 なた
 なた
 なた
 なた



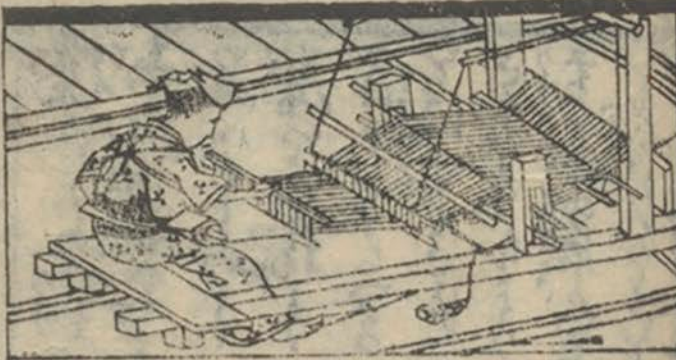
ずのうぎ
 ずのうぎ
 ずのうぎ
 ずのうぎ
 ずのうぎ
 ずのうぎ
 ずのうぎ
 ずのうぎ

あうの
 なた
 なた
 なた
 なた
 なた
 なた
 なた



これ女のついで
かりに後ろ
女もいふ
ハ草の角
あうらう
うらうら
うらうら
女のついで

曾孫好忠
中江の戸
あうらう
うらうら
うらうら
うらうら
うらうら
うらうら
うらうら



あまのついで
やまのついで
あまのついで
あまのついで
あまのついで
あまのついで
あまのついで
あまのついで



くらげのひらけ
 つらつらつらつら
 くらげのひらけ
 つらつらつらつら
 くらげのひらけ
 つらつらつらつら
 くらげのひらけ
 つらつらつらつら

くらげのひらけ
 つらつらつらつら
 くらげのひらけ
 つらつらつらつら
 くらげのひらけ
 つらつらつらつら
 くらげのひらけ
 つらつらつらつら



くらげのひらけ
 つらつらつらつら
 くらげのひらけ
 つらつらつらつら
 くらげのひらけ
 つらつらつらつら
 くらげのひらけ
 つらつらつらつら



ず
 紅毛の梅^{いばら}方
 すまうに十目
 ずく月
 かやす十二文
 ゆづり之文
 本水針^{もみぢ}未入^{もみぢ}
 中^{なかつ}づり^{なかつ}もみぢ
 ず^{いづ}り^{いづ}もみぢ
 紅毛の梅^{いばら}方

女の髪をゆきしら
てんてん天をきり
とまわつてあそ
ぶげふくさうは
おもしろなるあそ
とまわつてあそ
ぶげふくさうは
とまわつてあそ
ぶげふくさうは
とまわつてあそ
ぶげふくさうは

おれおれおれ

あゝあゝあゝ

このせう

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ



あゝあゝあゝ
あゝあゝあゝ
あゝあゝあゝ
あゝあゝあゝ
あゝあゝあゝ
あゝあゝあゝ
あゝあゝあゝ
あゝあゝあゝ
あゝあゝあゝ
あゝあゝあゝ
あゝあゝあゝ
あゝあゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ

あゝあゝ



女のおういそ
 るとめいけいの
 討とも天あ
 后姐己とむ
 銀粉とがうと
 すとろいあ
 ろいのとわね
 まね統天や
 年四統天と



人おろと
 つまろぐとめ
 かうりておろ
 ねとふ入
 てねくとのあ
 とかすとのふ
 なるあいのち
 るとと
 るなり



うきうきあそび
 小舟をよりお
 かんうきうき
 湯とあそびと
 さますーい
 ぼろろとほす
 るのゆきあ
 ころろ

良置は所
 けいふ
 ちやと
 ころあて
 ながもき
 ころもあま
 杖のたぐ
 ころ



大細な経信
 つ田の
 りきで
 ねぐさ
 あのもちや
 杖のたぐ



あきつゝ海老の
 かきやうかう
 海老のうしろを
 うしろへあてあび
 るゑゑのうしろ
 せうけとあび
 らんとするとき
 かなとてうしろ
 まをうしろ



あきつゝ海老の
 かきやうかう
 海老のうしろを
 うしろへあてあび
 るゑゑのうしろ
 せうけとあび
 らんとするとき
 かなとてうしろ
 まをうしろ

あきつゝ海老の
 かきやうかう
 海老のうしろを
 うしろへあてあび
 るゑゑのうしろ
 せうけとあび
 らんとするとき
 かなとてうしろ
 まをうしろ



あきつゝ海老の
 かきやうかう
 海老のうしろを
 うしろへあてあび
 るゑゑのうしろ
 せうけとあび
 らんとするとき
 かなとてうしろ
 まをうしろ

いふなりとて
 ちかきあひの
 なみのほろと
 まもつたのふ
 ぐもてどまふ
 くらとてとて
 けろとてとて
 あずいとも
 けろとてとて

源 兼 留
 あまのうま
 ちかき
 なもつた
 いらせ
 すまの




なもつた
 ちかき
 いらせ
 すまの



能く又のめを
 するわあつと
 本を傍のりつ
 と中路をへ
 まうと本を
 せん今痛き
 せんがとまう
 ちさあくあ
 久部中あよ

あひは
 歌やハ
 めを
 おのた
 うちうや
 わなぞ
 うみ



寂蓮は
 めの
 つも
 まい
 橋の
 生る
 あさの





三葉いふ所
 のふとふと
 りふとふと
 けふとふと
 うふとふと
 ふふとふと
 とふとふと
 けふとふと
 ふふと



りふとふと
 けふとふと
 ふふとふと
 とふとふと
 けふとふと
 ふふとふと
 とふとふと
 けふとふと
 ふふと

七夕まつる青
撞破城の武丁
とらふの七月
七日の夜織女
征はとらふ
執事おあひ
とらふとらふ
とらふとらふ
とらふとらふ

二條院御成
けつわ
かき
仲のれ
人へそ
かきま



子かどをきて
 まつるをくち
 魚いろうかう
 そのまつの海
 ちがや
 常は常のま
 きん果ては
 あけろろのふ
 水とてはまの
 びをうかう

後金太夫
 ちやう
 つも
 ぐま
 ぐま
 あまのふな
 つも
 ぐま



びむふ^ふ行^うを^う定^{ちやう}
 ふき^ふつて^つな^なら^らふ
 ふ^ふそ^その^のま^まち^ちふ
 ふ^ふそ^その^のま^まち^ちふ
 の^のい^いふ^ふか^から^らう
 か^から^らう^う又^{また}あ^あま^まき
 び^びき^きと^とな^なら^らう
 と^とは^はう^うの^のこ^こし^しと
 な^なり

久儀雅經
之
山
小夜
之



前大僧正の
おろけな
うきもの
あやふ
わらわ
すまはのそで



うんま
庚申のうん
人のふくみ
とを思ひ出わ
りそがうんの
夜にふくみ
むすみのう
る人のふく
あうてふく
ふくをふく

[illegible]



小結尾のめく
 たたきぬいふ
 わくさうさめ
 あつめさうが
 けつひさうけり
 うひのさき
 あめさうの
 まへめさう
 こけさうけり
 けつとさう

- 病令并文 びやうしやうい 口ひき
- 夜寝并文 よるね 口
- 痛の文 いた
- 忌明け文 きあけ
- 宝氣并文 たからき
- 氣骨の文 きこつ 口ひき

女用文書

新書の文

けつさう

けつさう

年ちけり

けつさう



赤深きつらま
 若周ありまひ
 光れ信者のけり
 新世のそ
 かりんといの
 伊はけりて
 ともころれん
 明神もあま
 さいふもさる

赤深きつらま
 若周ありまひ
 光れ信者のけり
 新世のそ
 かりんといの
 伊はけりて
 ともころれん
 明神もあま
 さいふもさる

赤深きつらま
 若周ありまひ
 光れ信者のけり
 新世のそ
 かりんといの
 伊はけりて
 ともころれん
 明神もあま
 さいふもさる

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

おのれ
おのれ

ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん

ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん

ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん



ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん

日迄年

ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん
ふんふんふん

かきぞとぶく
くきとあまう
あびとあひ
うきとあまう
一ちとあまう
一ちとあまう
かきとあまう
かきとあまう
かきとあまう
あまうとあまう

えんどうや
あひとあまう
あまうの山
あまうの山
あまうの山
あまうの山
あまうの山
あまうの山

かきとあまう
あまうとあまう
あまうとあまう
あまうとあまう
あまうとあまう
あまうとあまう
あまうとあまう
あまうとあまう
あまうとあまう
あまうとあまう

あまうの文
あまうの文
あまうの文
あまうの文
あまうの文
あまうの文
あまうの文
あまうの文

ちやうどおどろ
 すてきなほど
 せむせむわ
 よきよきおの
 んやうやう
 くらきくら
 ちやうどおどろ
 ねとちやうど
 まかをいせん
 ちやうど一すぢ

ちやうどおどろ
 すてきなほど
 せむせむわ
 よきよきおの
 んやうやう
 くらきくら
 ちやうどおどろ
 ねとちやうど
 まかをいせん
 ちやうど一すぢ



女おどろおどろ

ちやうどおどろ
 すてきなほど
 せむせむわ
 よきよきおの
 んやうやう
 くらきくら
 ちやうどおどろ
 ねとちやうど
 まかをいせん
 ちやうど一すぢ

されども
 又今のやうな
 中へ入るやう
 ぢやないのやう
 へいひつゝの
 事ふまゝに
 所へ入るやう
 思ふやうに

ちやうど
 いふやうに
 ちやうど
 ちやうど
 ちやうど
 ちやうど

ちやうど
 ちやうど
 ちやうど
 ちやうど



七ツの文
 七ツの
 七ツの
 七ツの

人の心をさぐり
 心の奥をさぐり
 人の心をさぐり
 心の奥をさぐり
 人の心をさぐり
 心の奥をさぐり
 人の心をさぐり
 心の奥をさぐり

人の心をさぐり
 心の奥をさぐり
 人の心をさぐり
 心の奥をさぐり
 人の心をさぐり
 心の奥をさぐり
 人の心をさぐり
 心の奥をさぐり



人の心をさぐり
 心の奥をさぐり
 人の心をさぐり
 心の奥をさぐり
 人の心をさぐり
 心の奥をさぐり
 人の心をさぐり
 心の奥をさぐり

人の心をさぐり
 心の奥をさぐり
 人の心をさぐり
 心の奥をさぐり
 人の心をさぐり
 心の奥をさぐり
 人の心をさぐり
 心の奥をさぐり

乃びぎらうそれば
 人のたつたま
 我れをいふそ
 我のまうそ
 ままやする
 海の中をいづる
 ままのまうそ

ままのまうそ
 ままのまうそ
 ままのまうそ
 ままのまうそ
 ままのまうそ



ままのまうそ
 ままのまうそ
 ままのまうそ
 ままのまうそ

ままのまうそ
 ままのまうそ
 ままのまうそ
 ままのまうそ

わがまへへき

うゝあへともた

わがまへへき

わがまへへき

わがまへへき

わがまへへき

わがまへへき

はな

あ

が

わがまへへき

わがまへへき

わがまへへき

わがまへへき

わがまへへき

わがまへへき

わがまへへき

わがまへへき

わがまへへき

わがまへへき



わがまへへき

女古文状

○やまの糸

つゆの月

ぐうの月

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ

あゝあゝあゝ



ふいふふ
まはらうわね
のほろおろ
いせめ
あやて春の
けきのうらふ
ふきんきり
とちの長びら
ころろ答よう

生つゝくひすも
のさむ
新撰のうす
水でいそぐ
とちあき
いとわづらひ

門
返
戶

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

ちやうどいふやうに
 まるふかきふかき
 浪ふくろのふかき
 とみふかき
 ちやうどいふやうに
 まるふかきふかき
 浪ふくろのふかき
 とみふかき

浪のやうなる
 まるふかきふかき
 浪のやうなる
 まるふかきふかき
 浪のやうなる
 まるふかきふかき



ちやうどいふやうに
 まるふかきふかき
 浪ふくろのふかき
 とみふかき

ちやうどいふやうに
 まるふかきふかき
 浪ふくろのふかき
 とみふかき

如^やの^うや^やや^や
 ぐん^{ぐん}ば^ばあ^あ
 本^{ほん}つ^つる^る龍^{りゅう}龍^{りゅう}
 も^もま^まの^の白^{はく}白^{はく}
 ち^ちき^きそ^そて^てま^ま
 の^のみ^みが^がで^では^は
 ら^られ^れつ^つる^る

一^{いち}の^のう^うや^や
 万^{まん}の^のう^うや^や
 ち^ちき^きそ^そて^てま^ま
 の^のみ^みが^がで^では^は
 ら^られ^れつ^つる^る



麻^あさ^さき^き
 ら^られ^れつ^つる^る
 の^のみ^みが^がで^では^は
 ら^られ^れつ^つる^る

一^{いち}の^のう^うや^や
 万^{まん}の^のう^うや^や
 ち^ちき^きそ^そて^てま^ま
 の^のみ^みが^がで^では^は
 ら^られ^れつ^つる^る

りろふ^のみ^へ来
 の^のき^きて^ておれ
 う^うま^まて^ては^はつ^つむ
 ち^ちき^きの^のは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに

け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに



け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに

け^けは^はる^るま^まに
 け^けは^はる^るま^まに

あまのこ
ふもつ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ

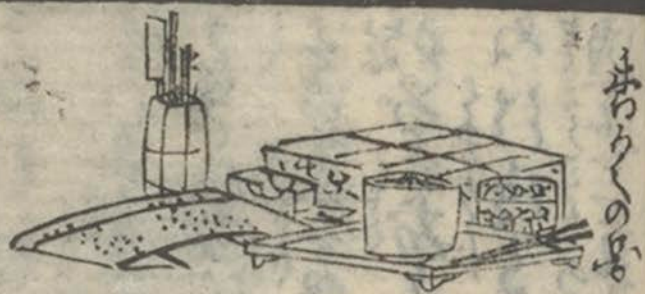
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ

あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ

あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ



一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

[illegible]

○ 然 然 然 然

それ名物の

三ノ

久々
三つ葉草

竹
が
き
き

三

道遠二五

紅毛やあめ

ちよのこふれ

けみなり

中



増城やハネ
 ぎさあめー
 花のさあも
 る花のさあも
 月日
 年
 名さへさあも

星はさあも
 花のさあも
 まさあも
 夕さあも
 夕さあも



丹
 丹
 丹

丹

丹
 丹
 丹
 丹
 丹

送がへ上
 まゝのちを
 乃今ゆたの
 うらうとむ
 明るしむ
 まゝぬすむ
 のりきみ

ししうふし
 りんごのし
 ゐのふし
 うううう
 うううう
 うううう

あううう
 ぶうう
 とられの
 ううう



志のち
どちを

子
子

同く
うげもさす

やうきもの

のうき
うきや

なづけん

六十一種

名

三

三

中

子

3

中
 心
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

...

2
L
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
840
84

摩訶般若波羅蜜

三子

わん
おく

五

五ノノノノ

きづあひもき

子方

わきん

入

わんざり

風^{ふう}と^とあ^ある^るも
 つ^つや^やあ^ある^るも
 乃^のた^たは^はた^たは^はた^たは^は
 つ^つや^やあ^ある^るも
 風^{ふう}と^とあ^ある^るも
 つ^つや^やあ^ある^るも
 乃^のた^たは^はた^たは^はた^たは^は
 つ^つや^やあ^ある^るも

乃^のた^たは^はた^たは^はた^たは^は
 つ^つや^やあ^ある^るも
 乃^のた^たは^はた^たは^はた^たは^は
 つ^つや^やあ^ある^るも
 乃^のた^たは^はた^たは^はた^たは^は
 つ^つや^やあ^ある^るも
 乃^のた^たは^はた^たは^はた^たは^は
 つ^つや^やあ^ある^るも



風^{ふう}と^とあ^ある^るも
 つ^つや^やあ^ある^るも
 乃^のた^たは^はた^たは^はた^たは^は
 つ^つや^やあ^ある^るも

乃^のた^たは^はた^たは^はた^たは^は
 つ^つや^やあ^ある^るも
 乃^のた^たは^はた^たは^はた^たは^は
 つ^つや^やあ^ある^るも
 乃^のた^たは^はた^たは^はた^たは^は
 つ^つや^やあ^ある^るも
 乃^のた^たは^はた^たは^はた^たは^は
 つ^つや^やあ^ある^るも

けしきいづれあづ
 らくまの
 校書ののろを
 まてあつこの
 ひろいづれ
 ひろいづれ
 ひろいづれ
 ひろいづれ

けしきいづれあづ
 らくまの
 校書ののろを
 まてあつこの
 ひろいづれ
 ひろいづれ
 ひろいづれ
 ひろいづれ

いのゝん
 けしきいづれあづ
 らくまの
 校書ののろを
 まてあつこの
 ひろいづれ
 ひろいづれ
 ひろいづれ
 ひろいづれ



名前の状ふ
 聖なる
 うーはむ
 大張の橋本
 ひのくつ
 場を屋やあ
 の角の文字

[illegible]

くちろふざろ
こぢろふざろ
めろぞろろ
うしろろろ
と眠るを此



三
 二
 一

口五半
安

切きぬぐま
 紅い紙様や
 こぢいおの
 小ぢいおの
 ちぎねん
 さくさく乃
 うらの流るの

うんねん
 うんねん
 うんねん
 うんねん
 うんねん
 うんねん
 うんねん

おぢい様
 さくさく乃
 さくさく乃
 さくさく乃



おうねん
 おうねん
 おうねん
 おうねん
 おうねん
 おうねん
 おうねん

わがうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの

わがうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの

悔の文

わがうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの



わがうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの
うづらうらなひの

神をいふて
 東山をいふて
 東山の有るを
 いふて
 東山の有るを
 いふて
 東山の有るを
 いふて

東山の有るを
 いふて
 東山の有るを
 いふて
 東山の有るを
 いふて
 東山の有るを
 いふて

東山の有るを



東山の有るを
 いふて
 東山の有るを
 いふて
 東山の有るを
 いふて
 東山の有るを
 いふて

天教日

春

つちのえ
さるの目

夏

さるのえ
さるの目

秋

つちのえ
さるの目

冬

さるのえ
ねの目

万の目

あるがう

あるがう

あるがう

あるがう

新灸

さるのえ

さるのえ

さるのえ

さるのえ

さるのえ

さるのえ

新灸

あるがう

あるがう

あるがう

あるがう

跡見学園女子大学短期大学部図書館



a0010459618a

元年

寅冬發行

大阪

河内屋茂兵衛
河内屋藤兵衛

京都

菱屋治兵衛
越後屋治兵衛



りやういひ一紙の
るるるるるるる
るるるるるるる
るるるるるるる
るるるるるるる
るるるるるるる

安政元年

甲寅冬發行

書林

大阪

京都

河内屋茂兵衛
河内屋藤兵衛
菱屋治兵衛
越後屋治兵衛



りやういふ
る
春
月

十勝井

高田君